

組織的調査研究活動推進事業*

翠 川 忠 康

和歌山市加太地区を対象に磯根漁業資源の安定的増大策の樹立を目的とし、その阻害要因となっている問題点の実態を把握し、解明方法を検討した。本事業は国の総合助成事業として実施したもので、詳細は「昭和56～57年度組織的調査研究活動推進事業報告書」に報告した。

結果の概要

加太地区の漁業実態を調査した結果、指導を要すると思われる内容と残された問題点の解決方法を取りまとめ、表1・2に示した。

表1 確定された指導内容

項 目	区 分	指 導 内 容
アワビ増殖対策	行 政	小型アワビの漁獲禁止
	”	禁漁期の設定
	行政・研究	幼稚仔保護育成場造成事業の推進
	行政・研究	アワビ種苗生産の推進
	行 政	大型海藻の保護
サザエ増殖対策	行 政	小型サザエの漁獲禁止
	”	禁漁区の設定
	研 究	種苗生産研究推進
流 通 対 策	行 政	はかり売りの実施

表2 残された問題点及び解決の方法

項 目	区 分	問 題 点	解 決 の 方 法
マダイ増殖対策	行政 研究	小ダイ混獲防止	広域にわたる小ダイ混獲漁具・漁法による操業域の再検討。
	行政	遊漁者による小ダイ釣獲防止	行政的対策の検討。
アワビ類・サザエ増殖対策	研究	適正漁獲量の把握	標識放流等による資源量の把握
	行政	密漁防止	資源保護の啓蒙・取締まり強化・罰則の再検討。

* 組織的調査研究活動推進事業費による。

表2 つづく

項 目	区分	問 題 点	解 決 の 方 法
テングサ類増殖対策 漁場保善対策	研究 行政	漁獲量の減小 漁場環境の 悪化防止	不漁原因の究明。 大阪湾との海水交換が多く、影響を大きく 受けるので湾内海水の汚染防止対策の検討 が必要である。
組 合 対 策	行政	組 合 員 の 老 齡 化 改 善	組合員制度の再検討・老後の生活保障。 組合員の生活安定化。